

# 器官解剖学

責任者・コーディネーター		人体発生学分野 人見 次郎 教授		
担当講座・学科（分野）		人体発生学分野、細胞生物学分野		
担当教員		人見 次郎 教授、齋野 朝幸 教授、木村 英二 准教授、中野 真人 特任講師、阿久津 仁美 助教、横山 拓矢 助教、村嶋 亜紀 助教、三上 貴浩 助教		
対象学年	2	区分・時間数	講義	46コマ 69.0時間
期間	前期		実習	22コマ 33.0時間
			演習	5コマ 7.5時間

## ・学習方針（講義概要等）

解剖学Anatomyは、生物を構成する物質（器官・組織・細胞・分子）の発生から老化までのある時間軸におけるかたち（構造と構成）を明らかにし、その物質の動きのしくみ（動態・機能）を解析する学問である。すなわち、形態を観察することにより、生物のダイナミクスを考察し、検証することを目的としている。解剖学の研究対象はあらゆる生物のあらゆる大きさの構造に及ぶが、器官解剖学では、講義と実習、演習、さらに課題を課すことにより人体の成り立ち（発生学）と、人体の構成要素である器官とその組織（組織学）の正常構造の理解を深めていく。

## ・教育成果（アウトカム）

形成異常や病気の成立機転を理解し、適切な診断と治療方法を選択するためには、様々な生命現象が生体で、いつ、どこで、どのように起こっているかを理解していなければいけない。そのため、人体のそれぞれの器官の形成過程を、授業や演習、課題の解決により学修し、器官の解剖学的特性を概説できるようになる。同時に、各器官の組織の顕微鏡標本を顕微鏡を用いて観察し、スケッチすることで、正常な器官とそれを構成する細胞の顕微構造を理解し、その機能と関連付けて説明できるようになる。これにより、人体の基本構造とそれぞれの構造とその機能の連関を知り、個体の成り立ちを知ることとなる。また、人体の構造とその発生を学修することで、生命の神秘と個人の尊厳を知る。

（ディプロマ・ポリシー： 1、2、3、4、6 ）

## ・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	初期臨床研修医あるいは研究医としての業務を行うために必要な人体の解剖学的知識を、講義を通じて習得し、また、実習と演習により細胞相互の関係を類推できる科学的思考方法を体得することで、人体の成り立ちの全体像を説明できる。
2	医師として必要な「的確な医療情報を収集し、それをもとに適確な診断を下し、記録する」という基本的な課程を学修するため、実習では、光学顕微鏡を操作し、顕微鏡標本を観察し、スケッチすることで、特定の器官の組織とその構成細胞を同定する技能を習得し、科学的思考方法を身につける。
3	授業を通じて、未知なる人体への尊厳と幅広い知識や優れた技術の習得のため日々研鑽を続けるプロフェッショナルとしての態度を身につける。
4	人体標本や顕微鏡標本の作製法を学び、人体組織を扱う教育・研究を実施する際の、医療倫理、個人情報保護、感染対策の必要性を説明できる。

## ・講義場所

講義： 矢巾キャンパス西1-B講義室

実習： 矢巾キャンパス西4-B実習室

・ 講義日程

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標 番号	コアカリ
講義	4/3(火)	1	人体発生学分野	人見 次郎 教授	発生学1 発生第1週から第3週まで； 原腸形成	1、4	C-2-4)①、 D-9-1)⑦、 A-4-2)⑥、 A-1-1)②
講義	4/3(火)	2	人体発生学分野	人見 次郎 教授	発生学2 発生第3週から第8週まで； 胚子期	1、4	C-2-4)①、 C-2-4)②、 A-4-2)⑥
講義	4/3(火)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学1 リンパ系器官（血液の免疫）； 脾臓の顕微構造	1、4	D-1-1)④、 D-5-1)⑥、 D-5-1)⑩、 C-3-2)-(1)②、 C-2-2)-(1)③
講義	4/5(木)	1	人体発生学分野	人見 次郎 教授	系統解剖学1 心臓と大血管の解剖学	1	D-5-1)①、 D-5-1)⑥、 D-5-1)⑦、 D-5-1)⑨
講義	4/5(木)	2	人体発生学分野	木村 英二 准教授	発生学3 心臓脈管系Ⅰ 心臓の発生	1、4	C-2-4)⑤、 D-5-1)①、 D-5-1)②、 C-2-2)-(1)⑤、 A-1-1)②
講義	4/5(木)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学2 心臓の顕微構造；刺激伝導系	1	D-5-1)③、 D-5-1)①、 D-5-1)②、 C-2-2)-(1)⑤
講義	4/10(火)	1	人体発生学分野	木村 英二 准教授	発生学4 心臓脈管系Ⅱ 脈管の発生	1、4	C-2-4)⑤、 D-5-1)⑤、 D-5-1)⑦、 A-1-1)②
講義	4/10(火)	2	細胞生物学分野	中野 真人 特任講師	発生学5 頭頸部Ⅰ 鰓弓と鰓弓神経	1、4	C-2-4)⑧、 C-2-4)⑨、 D-2-1)-(3)②、 D-4-1)②、 C-1-1)-(3)②、 D-5-1)⑥、 D-5-1)⑦、 A-1-1)②
講義	4/10(火)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学3 消化器系Ⅰ 歯の顕微構造	1	D-7-1)⑬、 D-14-1)③、 D-2-1)-(3)②、 C-2-2)-(1)②、 C-2-2)-(1)⑥
講義	4/12(木)	2	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	発生学6 頭頸部Ⅱ 顔面と口蓋の形成	1、4	C-2-4)⑧、 D-14-1)③、 D-2-1)-(3)②、 D-4-1)②、 D-5-1)⑥、 D-5-1)⑦、 A-1-1)②、 A-4-2)⑥
講義	4/12(木)	3	細胞生物学分野	阿久津 仁美 助教	組織学4 消化器系Ⅱ 口唇・舌・口腔の上皮と腺	1	D-7-1)⑬、 D-14-1)⑥、 D-14-1)③、 C-2-4)⑧、 D-2-1)-(3)②、 D-5-1)⑥、 D-5-1)⑦

講義	4/17(火)	1	人体発生学分野	人見 次郎 教授	発生学7 体腔形成；腸管と腸間膜	1、4	C-2-4)⑦、 D-6-1)③、 D-7-1)②、 C-2-4)⑤、 A-1-1)②
講義	4/17(火)	2	人体発生学分野	木村 英二 准教授	系統解剖学2 消化器系Ⅰ 消化管の解剖学	1、4	D-7-1)①、 D-7-1)③、 D-7-1)④、 D-7-1)⑤、 C-2-1)-(1)④、 D-5-1)⑦、 D-5-1)⑧、 D-5-1)⑥、 D-5-1)⑦
講義	4/17(火)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学5 消化器系Ⅲ 上部消化管； 食道と胃の顕微構造	1	D-7-1)③、 D-7-1)⑦、 D-7-1)⑩、 D-7-1)④、 D-7-1)⑤、 C-2-1)-(1)④、 D-5-1)⑥、 D-5-1)⑦、 C-2-2)-(1)⑥
講義	4/19(木)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学6 消化器系Ⅳ 十二指腸・膵 の顕微構造	1	D-7-1)③、 D-7-1)⑨、 D-7-1)⑩、 D-7-1)⑩、 D-7-1)④、 D-7-1)⑤、 C-2-2)-(1)⑥
講義	4/24(火)	1	人体発生学分野	人見 次郎 教授	発生学8 消化器系Ⅰ 前腸と肝・膵 の発生	1、4	C-2-4)④、 D-7-1)①、 D-7-1)②、 D-7-1)⑥、 D-7-1)⑨、 D-5-1)⑦、 D-5-1)⑥、 A-1-1)②
講義	4/24(火)	2	人体発生学分野	木村 英二 准教授	系統解剖学3 消化器系Ⅱ 肝胆膵の解剖学	1、4	D-7-1)⑥、 D-7-1)⑨、 D-7-1)②、 D-5-1)⑦、 D-5-1)⑥
講義	4/24(火)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学7 消化器系Ⅵ 肝・胆の顕微 構造	1	D-7-1)⑥、 D-7-1)⑧、 D-5-1)⑧、 D-5-1)⑦、 D-5-1)⑥、 C-2-2)-(1)⑥
講義	4/26(木)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学8 消化器系Ⅴ 下部消化管； 小腸と大腸の顕微構造	1	D-7-1)③、 D-7-1)⑩、 D-7-1)⑩、 D-7-1)⑩、 D-7-1)④、 D-7-1)⑤、 C-3-2)-(1)②、 C-2-1)-(1)④、 C-2-2)-(1)⑥
講義	5/1(火)	1	細胞生物学分野	中野 真人 特任講師	発生学9 神経系Ⅰ 中枢神経の発 生；脊椎と脳	1、4	C-2-4)⑨、 D-2-1)-(1)①、 D-2-1)-(1)②、 D-2-1)-(2)①、 C-2-2)-(1)⑥、 C-2-2)-(1)④、 A-1-1)②

講義	5/1(火)	2	人体発生学分野	人見 次郎 教授	発生学10 消化器系Ⅱ 中腸・後腸の発生	1、4	C-2-4)④、 D-7-1)①、 D-7-1)②、 D-5-1)⑦、 C-2-4)⑥、 A-1-1)②
講義	5/1(火)	3	細胞生物学分野	横山 拓矢 助教	組織学9 内分泌系Ⅰ 消化管内分泌細胞	1	D-12-1)②、 D-7-1)①、 D-7-1)②、 D-12-1)⑥、 D-12-1)①、 D-7-1)⑩、 D-5-1)⑧
講義	5/8(火)	1	細胞生物学分野	中野 真人 特任講師	発生学11 神経系Ⅱ 自律神経系の発生	1、4	C-2-4)⑨、 D-2-1)-(1)①、 C-2-2)-(1)④、 D-2-1)-(7)①、 D-2-1)-(7)②、 A-1-1)②
講義	5/8(火)	2	人体発生学分野	木村 英二 准教授	系統解剖学4 呼吸器系の解剖学	1、4	D-14-1)③、 D-6-1)①、 D-6-1)②、 D-6-1)③、 D-6-1)④、 D-6-1)⑩、 D-14-1)④、 D-7-1)⑨、 D-14-4)-(1)⑤
講義	5/8(火)	3	細胞生物学分野	阿久津 仁美 助教	組織学10 呼吸器系Ⅰ 鼻腔・喉頭・気管の顕微構造	1	D-14-1)③、 D-6-1)①、 D-2-1)-(6)②、 D-14-1)④、 D-14-4)-(1)⑤
講義	5/10(木)	2	人体発生学分野	人見 次郎 教授	発生学12 呼吸器系	1、4	C-2-4)④、 C-2-4)⑦、 D-6-1)①、 D-6-1)③、 D-5-1)⑤、 D-6-1)⑥、 A-1-1)②
講義	5/10(木)	3	細胞生物学分野	阿久津 仁美 助教	組織学11 呼吸器系Ⅱ 肺の機能と顕微構造	1	D-6-1)①、 D-6-1)②、 D-6-1)⑥、 D-6-1)⑩、 D-6-1)③、 C-2-4)④
講義	5/15(火)	1	人体発生学分野	人見 次郎 教授	発生学13 体壁と体肢の発生学	1、4	C-2-4)③、 D-4-1)⑥、 D-4-1)③、 D-4-1)④、 D-2-1)-(2)③、 A-1-1)②
講義	5/15(火)	2	細胞生物学分野	中野 真人 特任講師	発生学14 神経堤細胞	1、4	C-2-4)⑧、 C-2-4)⑨、 C-2-4)⑤、 C-2-4)④、 D-3-1)①、 D-12-1)⑤、 A-1-1)②

講義	5/15(火)	3	細胞生物学分野	横山 拓矢 助教	組織学12 内分泌系Ⅱ 視床下部・下垂体系の顕微構造	1	D-12-1)②、 D-12-1)①、 D-2-1)-(7)②、 D-12-1)③、 D-12-2)①、 C-2-3)-(4)①、 C-2-3)-(4)②、 C-2-3)-(4)③
講義	5/17(木)	3	人体発生学分野	人見 次郎 教授	組織学13 内分泌系Ⅲ 副腎・甲状腺の顕微構造	1	D-12-1)②、 D-12-1)①、 D-12-1)④、 D-12-1)⑤、 D-12-4)-(3)②、 D-12-1)③、 D-12-2)①、 C-2-3)-(4)①、 C-2-3)-(4)②、 C-2-3)-(4)③
講義	5/22(火)	2	人体発生学分野	木村 英二 准教授	系統解剖学5 泌尿生殖器Ⅰ 腎の解剖学	1、4	D-8-1)②、 D-8-1)③、 D-8-1)④、 D-8-1)⑤、 D-8-1)⑦、 D-8-1)⑧、 C-2-4)⑥
講義	5/22(火)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学14 泌尿生殖器系 腎・膀胱の顕微構造	1	D-8-1)②、 D-8-1)③、 D-8-1)④、 D-8-1)⑤、 D-8-1)⑦
講義	5/24(木)	2	人体発生学分野	村嶋 亜紀 助教	発生学15 泌尿生殖器系の発生	1、4	C-2-4)⑥、 D-9-1)①、 D-8-4)-(7)①、 D-9-4)-(2)①、 D-9-1)⑥、 D-9-1)⑦、 D-9-1)②、 D-9-1)③、 A-1-1)②
講義	5/24(木)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学15 男性生殖器Ⅰ 精巣の顕微構造	1	D-9-1)③、 D-9-1)④、 D-12-1)⑦
講義	5/29(火)	2	人体発生学分野	木村 英二 准教授	系統解剖学6 泌尿系Ⅱ 男性生殖器の解剖学	1、4	D-9-1)③、 D-9-1)②、 D-9-1)⑤、 D-9-4)-(1)③、 D-9-4)-(2)①
講義	5/29(火)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学16 男性生殖器Ⅱ 精巣附属器・精囊・前立腺・陰茎の顕微構造	1	D-9-1)③、 D-9-1)④、 D-9-1)⑤

講義	5/31(木)	2	人体発生学分野	村嶋 亜紀 助教	系統解剖学7 泌尿生殖器系Ⅲ 女性生殖器の解剖学	1、4	D-9-1)⑦、 D-9-1)⑥、 D-9-1)①、 D-9-1)⑧、 D-9-4)-(2)①
講義	5/31(木)	3	細胞生物学分野	阿久津 仁美 助教	組織学17 女性生殖器Ⅰ 卵巣と卵管の顕微構造	1	D-9-1)⑥、 D-9-1)⑦、 D-9-1)⑧、 D-12-1)⑦
講義	6/5(火)	3	細胞生物学分野	阿久津 仁美 助教	組織学18 女性生殖器Ⅱ 子宮・胎盤の顕微解剖	1	D-9-1)⑥、 D-9-1)⑦、 D-10-3)②、 D-12-1)⑦
講義	6/7(木)	2	人体発生学分野	木村 英二 准教授	系統解剖学8 感覚器Ⅰ 視覚器の解剖学	1、4	D-13-1)①、 D-13-1)②、 D-13-1)③、 D-13-1)④、 D-2-1)-(6)②、 D-2-1)-(7)①、 C-2-4)⑨
講義	6/7(木)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学19 感覚器Ⅰ 視覚器の顕微構造	1	D-13-1)①、 D-13-1)②
講義	6/12(火)	2	人体発生学分野	人見 次郎 教授	系統解剖学9 感覚器Ⅱ 平衡聴覚器の解剖学	1、4	D-14-1)①、 D-14-1)②、 D-14-1)⑤、 D-2-1)-(6)②、 D-2-1)-(7)①、 C-2-4)⑨
講義	6/12(火)	3	細胞生物学分野	横山 拓矢 助教	組織学20 感覚器Ⅱ 平衡聴覚器の顕微構造	1	D-14-1)①、 D-14-1)②
講義	6/14(木)	2	人体発生学分野	人見 次郎 教授	発生学16 感覚器の発生学；プラコード	1、4	C-2-4)⑨、 D-13-1)①、 D-13-1)②、 D-14-1)①、 D-14-1)②、 A-1-1)②
講義	6/14(木)	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	組織学21 感覚器Ⅲ 皮膚の顕微構造	1	D-3-1)①、 D-3-1)②、 D-3-1)③、 D-2-1)-(6)①、 D-2-1)-(7)①、 C-2-3)-(4)①
実習	4/3(火)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習1 リンパ性器官 脾臓	1、2、 3、4	D-1-1)④、 C-2-2)-(1)②、 C-3-2)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②

実習	4/5(木)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習2 心臓； 1. ブタの心臓の観察 2. 心臓の刺激伝導系の構成 細胞の観察・同定・スケッチ	1、2、 3、4	D-5-1)①、 D-5-1)②、 D-5-1)③、 C-2-2)-(1)⑤、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	4/10(火)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習3 消化器系Ⅰ（歯）	1、2、 3、4	D-7-1)⑬、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	4/12(木)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習4 消化器系Ⅱ（口腔）； 1. 口唇 2. 舌 3. 唾液腺 4. 咽頭	1、2、 3、4	D-14-1)③、 D-7-1)⑬、 D-2-1)-(6)②、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	4/17(火)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習5 消化器系Ⅲ（上部消化管）；1. 食道 2. 胃	1、2、 3、4	D-7-1)③、 D-7-1)⑦、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	4/19(木)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習6 消化器系Ⅳ（十二指腸と膵）； 1. 十二指腸 2. 膵臓（外分泌腺）	1、2、 3、4	D-7-1)③、 D-7-1)⑨、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	4/24(火)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習7 消化器系Ⅴ（肝・胆）； 1. 肝臓の構造 2. 胆道系	1、2、 3、4	D-7-1)⑥、 D-7-1)⑧、 D-5-1)⑥、 D-7-1)③、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	4/25(水)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 三上 貴浩 助教	組織学 演習 消化器系	1、2、 3、4	D-7-1)⑬、 D-7-1)③、 D-7-1)⑥、 D-14-1)③、 D-7-1)⑨、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②

実習	4/26(木)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習8 消化器系Ⅵ（下部消化管）； 1. 小腸 2. 大腸	1、2、 3、4	D-7-1)③、 D-7-1)⑩、 D-7-1)⑪、 C-3-2)-(1)②、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	5/1(火)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 村嶋 亜紀 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習9 内分泌系Ⅰ（消化管内分泌系）； 消化管内分泌細胞の観察	1、2、 3、4	D-12-1)②、 D-7-1)①、 D-7-1)⑩、 D-12-1)⑥、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	5/8(火)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 村嶋 亜紀 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習10 呼吸器系Ⅰ； 1. 鼻腔と副鼻腔 2. 咽頭・喉頭 3. 気管と気管支	1、2、 3、4	D-14-1)③、 D-6-1)①、 D-2-1)-(6)②、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	5/10(木)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 村嶋 亜紀 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習11 呼吸器系Ⅱ；肺の顕微構造と機能	1、2、 3、4	D-6-1)①、 D-6-1)②、 D-6-1)⑥、 D-6-1)⑩、 C-1-1)-(1)②、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	5/15(火)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 村嶋 亜紀 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習12 内分泌系Ⅱ（視床下部・下垂体系）； 1. 下垂体前葉 2. 下垂体後葉 3. 松果体	1、2、 3、4	D-12-1)②、 D-2-1)-(7)②、 D-12-1)③、 D-2-1)-(1)②、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
演習	5/17(木)	2	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 木村 英二 准教授 三上 貴浩 助教	発生異常Ⅰ 1. 心血管系の異常 2. 消化器系と呼吸器系	1、4	C-2-4)⑤、 D-5-4)-(6)①、 E-7-1)①、 C-2-4)④、 D-7-4)-(3)⑨、 D-7-4)-(4)④、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)③



実習	5/17(木)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 村嶋 亜紀 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習13 内分泌系Ⅲ（副腎と甲状腺）； 1. 副腎の構造 2. 甲状腺の構造 3. 上皮小体の構造	1、2、 3、4	D-12-1)②、 D-12-1)⑤、 D-12-1)④、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	5/22(火)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 村嶋 亜紀 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習14 泌尿器系Ⅰ（腎と膀胱）； 1. 腎の構造 2. 尿路と膀胱の構造	1、2、 3、4	D-8-1)②、 D-8-1)③、 D-8-1)④、 D-8-1)⑤、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	5/24(木)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 村嶋 亜紀 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習15 男性生殖器Ⅰ（精巣）； 精巣の顕微構造と機能	1、2、 3、4	D-9-1)③、 D-9-1)④、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	5/29(火)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 村嶋 亜紀 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習16 男性生殖器Ⅱ（精路と陰茎）； 1. 精路の構造 2. 陰茎の構造	1、2、 3、4	D-9-1)③、 D-9-1)④、 D-9-1)⑤、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	5/31(木)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 村嶋 亜紀 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習17 女性生殖器Ⅰ（卵巣）；卵巣の顕微構造と機能	1、2、 3、4	D-9-1)⑦、 D-9-1)⑧、 D-9-1)①、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
演習	6/5(火)	1	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 木村 英二 准教授 村嶋 亜紀 助教 三上 貴浩 助教	発生異常Ⅱ 1. 生殖細胞と性分化 2. 泌尿器系	1、4	D-9-1)①、 D-9-1)⑥、 D-9-4)-(2)①、 D-12-2)①、 D-12-4)-(4)④、 C-2-4)⑥、 D-8-4)-(7)①、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)③
演習	6/5(火)	2	人体発生学分野 人体発生学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 木村 英二 准教授 三上 貴浩 助教	発生異常Ⅲ 1. 頭頸部 2. その他	1、4	C-2-4)①、 E-7-1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)③

実習	6/5(火)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 村嶋 亜紀 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習18 女性生殖器Ⅱ 1. 子宮の構造 2. 胎盤の構造	1、2、 3、4	D-9-1)⑦、 D-10-3)②、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	6/7(木)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 村嶋 亜紀 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習19 視覚器	1、2、 3、4	D-13-1)①、 D-13-1)②、 D-2-1)-(6)②、 C-1-1)-(1)②、 A-2-1)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	6/12(火)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 村嶋 亜紀 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習20 平衡聴覚器	1、2、 3、4	D-14-1)①、 D-14-1)②、 D-2-1)-(6)②、 C-1-1)-(1)②、 A-2-2)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
実習	6/14(木)	4	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 村嶋 亜紀 助教 三上 貴浩 助教	組織学実習21 皮膚感覚器； 皮膚を構成する組織とその 構成要素の観察・同定・ス ケッチ	1、2、 3、4	D-3-1)①、 D-3-1)②、 D-3-1)③、 D-2-1)-(6)①、 C-1-1)-(1)②、 A-2-2)③、 A-2-2)①、 A-2-2)②、 A-2-2)③、 A-9-1)②
演習	6/28(木)	1	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 村嶋 亜紀 助教 三上 貴浩 助教	まとめ；発生学プレテスト	1、4	-
演習	6/28(木)	2	人体発生学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 人体発生学分野	人見 次郎 教授 齋野 朝幸 教授 阿久津 仁美 助教 横山 拓矢 助教 村嶋 亜紀 助教 三上 貴浩 助教	まとめ；組織学プレテスト	1、4	-

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	標準組織学 各論 5版	藤田恒夫、藤田尚男 著	医学書院	2017
教科書	人体解剖学：Human Anatomy 改訂42版	藤田恒太郎 著	南江堂	2003
教科書	ラングマン人体発生学 11版	T. W. Sadler 著、安田峯生 訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2016

参考書	骨学実習の手引き 4版	寺田春水、藤田恒夫	南山堂	1992
教科書	入門組織学 改訂第2版	牛木辰男	南江堂	2013
教科書	標準組織学 総論 5版	藤田恒夫、藤田尚男 著	医学書院	2015
参考書	新編 カラーアトラス 組織・細胞学	岩永 敏彦、木村俊介、小林純子	医歯薬出版	2017
推薦図書	解剖学総論 / 運動器系 3版 (プロメテウス解剖学アトラス)	Michael Schünkeほか著、坂井建雄、松村譲児 監訳	医学書院	2017

・成績評価方法

総括評価:  
 期末試験の成績（知識）を70%、実習の成績（個人が提出した実習記録（スケッチ）を点数化し、技能を評価）を25%、学習態度の評価（課題の提出状況・遅刻の有無）を5%の割合で評価する。  
 実習の欠席は、きちんとした理由がない場合認めないので理由書を提出すること。なお、講義・実習への出席が規定の出席数に達しない場合は原則として、期末試験の受験資格は無い。

形成的評価:  
 口頭試問により、知識と技能の修学度を学生にフィードバックする。

・特記事項・その他

1. 1年次に履修した細胞生物学・基礎組織学・骨学では、形態・機能・物質の3要素を一体化して学んだことからわかるように、生命科学においては多方面の分野の統合化が求められている。人体のどこにどのような器官（特定の機能を果たす構造単位）が含まれるか、またそれはどのような機能を果たしているかを学ぶのが系統解剖学であり、器官の基本的構造である細胞と間質が寄り集まってできている組織の構造と機能を学ぶのが組織学である。また、生命体の構造的成り立ちを理解するのが、発生学である。器官解剖学では、系統解剖学を基本に、発生学と組織学を器官・系ごとに系統的に講義と実習をおこなうことで、人体の解剖学的特徴の理解の効率化を図る（水平統合）。

2. 2年次の後期では、解剖学的位置関係を把握し、臨床医学の実臨床を可能にするため、臨床解剖学へ進むが、器官解剖学の知識が不可欠である。また病気の発生機転を学ぶ病理学では、正常組織を理解していることが前提となっていることから、先行して組織学実習をおこなう。器官解剖学の評価では解剖学的知識・技能について臨床医学への応用力を指標とする。

3. シラバスに記載されている内容及び各回に配布・提示される教科書・レジメを用いて事前学修（予習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

4. 授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

・教育資源

教科書・参考書、講義室、実習室、PC画面投影装置、ノートパソコン、骨標本、Zeiss顕微鏡、スケッチブック・色鉛筆（各自）

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	PC画面投影装置	2	講義
実習	ノートパソコン	2	講義
実習	骨標本	130	実習
実習	Zeiss顕微鏡	130	実習
実習	スケッチブック・色鉛筆（各自）	130	スケッチに使用